

帝塚山学院大学
学生各位
教職員各位

帝塚山学院大学
学長 津田 謹輔

2020年度における大学の授業の開始にあたって（新型コロナウイルス関係）

このたび公表された「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年3月19日）においては、日々の学校現場における「3つの条件が同時に重なる場」を避けるため、①換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底、②多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮、③近距離での会話や大声での発声をできるだけ控えるなど、保健管理や環境衛生を良好に保つような取組を進めていくとともに、咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底することが重要であるとの考え方が示されました。

2020年度春学期における講義等の実施について

- ・新型コロナウイルスに感染しない、感染させない。
- ・集団感染（クラスター）対策をたてる。
- ・短期的収束は考えにくく、長期戦を覚悟する。

このような状況のなかで、学生・教職員の健康・安全面を考慮して、下記の「感染防止の考え方」にもとづいて実施します。

■ 専門家会議が避けるべきとしている環境をつくらないこと。

(1) 換気の悪い密閉空間（密閉空間であり換気が悪い）

- ・授業中30分に1回は換気する。（できる限り窓および反対側扉の両方を10分以上開放する。）

(2) 多くの人が密集（手の届く距離に多くの人がいる）

- ・できる限り隣の人との距離を確保させる。（食堂等での飲食時も含む）
- ・可能であれば、1つおきに着席させる。

(3) 近距離での会話や発声（近距離での会話や発声がある）

- ・可能な限り、マスクを着用する。受講学生にも着用させる。
- ・休憩時間には手洗いを徹底する。

■ 学生、教職員とも、毎朝検温し、37.5℃以上の場合は出校しないでください。この場合、必ず大学に「熱が出たため休校にする」旨を連絡してください。この症状のサーベイランスにより流行を探知することが可能になります。

■ 万一、PCR検査の結果「陽性」と判定された場合は、所轄の保健所、新型コロナ受診相談センター(大阪府：06-6944-8197)に連絡し、指示を仰ぐと共に、必ず大学にその旨を報告してください。

本学連絡先

帝塚山学院大学 事務局 教学課

狭山キャンパス 072-365-0865

泉ヶ丘キャンパス 072-296-1331